

情報公開文書書式

研究課題名	当院回復期リハビリテーション病棟における脳卒中患者の入浴動作自立に関連する因子
所属部署	長崎リハビリテーション病院 臨床部
研究責任者(職名)	下田莉華子
研究期間	承認日 ~ 2020年3月31日
研究目的と意義	臨床現場において、作業療法士は日常的に一連の入浴動作の観察評価は行っているが、入浴動作と身体・高次脳機能の何が関連しているのかについては明らかになっていません。そこで、本研究では、当院回復期リハビリテーション病棟に脳卒中中で入院した患者の入浴動作自立に関連する因子を分析し、病棟生活における入浴動作の「自立評価指標」の一つにすることです。
研究内容	<p>●対象となる患者さん</p> <p>対象は2019年1月1日から12月31日までに入院し、退院した脳卒中（脳梗塞・脳出血）患者さんが対象です。</p>
	<p>●利用する情報</p> <p>疾患名、障害名、性別、年齢、既往歴、発症日、当院入院日、入浴自立日、退院日、退院時のBr. stage (Brunnstrom stage, 片麻痺の運動機能評価), 上肢機能, FBS (Functional Balance Scale, バランス検査), FRT (Functional Reach Test, バランス検査), 感覚検査, 筋力, 入浴自立日のFIMと退院時FIM, 高次脳機能障害などカルテやチャートからの情報を利用します。 ※本研究で利用する情報について詳細をお知りになりたい場合は下記のお問い合わせ</p>
	<p>●研究方法</p> <p>対象を初発の脳卒中患者さん, 2回再発をした脳卒中患者さん, 3回以上再発をした脳卒中患者さんの3群に分けます。この3群の患者さんの退院時FIMの入浴項目の点数とBr. stage, 上肢機能, FBS (Functional Balance Scale), FRT (Functional Reach Test), 感覚検査, 筋力 (MMT, ミュータス, 握力), 高次脳機能障害についてSpearmanの相関分析を行います。</p>
問い合わせ先	<p>所属：一般社団法人是真会 臨床研究開発部 (PACS) 西岡・高橋</p> <p>住所：長崎市銀屋町4-11</p> <p>電話：095 (818) 2002</p> <p>受付時間：月～金 9:00～17:00 (祝・祭日を除く)</p>